

産業情報いわて

VOL. 135

月刊 2013年10月号



【支援企業紹介】

株式
会社

小山製麺

美味しい麺作りで (P2) 伝統の粉食文化の再発見を



いわて特産品コンクール 受賞者発表 (P4)

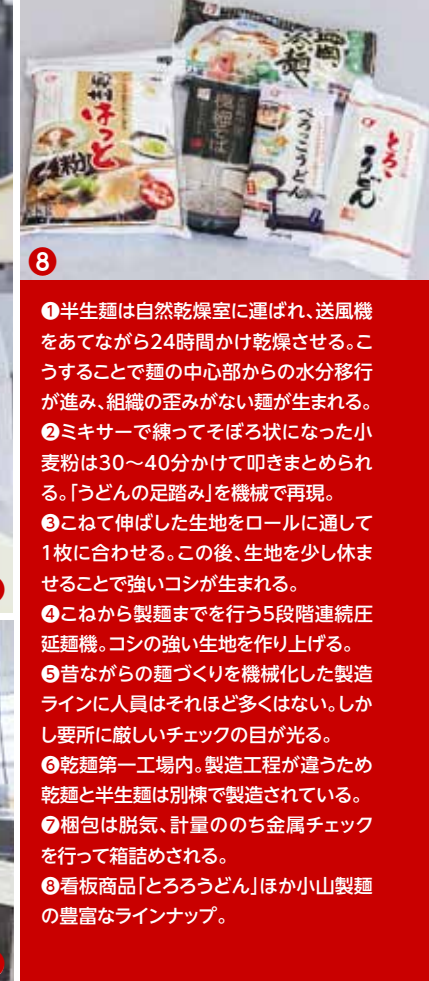
いわて知的財産権セミナー (P6)

設備貸与制度のご案内 (P6)

平成25年度
地域中小企業外国出願支援事業 (P7)

ビジネスマッチ東北2013 (P7)

「新素材・加工産業の振興を通じた
雇用創造プロジェクト」について (P8)



美味しい麺作りで 伝統の粉食文化の再発見を

厳しい気候風土の東北で受け継がれてきた小麦やそばなどの粉食文化。奥州市の小山製麺は、地域に根ざした製粉・製麺メーカーとして50年余りの歴史を刻む。めまぐるしく変わる食のトレンドを注視しそれに呼応しつつも、同社の根底にあるのは「美味しさの追求」というシンプルな思い。代表取締役社長の高橋政志さんにこだわりを伺った。

岩手の粉食文化を支えて50余年 「とろろうどん」が看板商品

県北の「そば」をはじめ「ひつつみ」「はっ」となど、岩手県には穀物を粉にして食する粉食文化が各地に根付いている。ここに盛岡冷麺などのご当地麺ブームも相まって、本県の粉食文化は実に個性豊かだ。

そんな“粉もの王国”岩手を支えている製麺メーカーが、奥州市胆沢区に本社工場を構える株式会社小山製麺。看板商品の「とろろうどん」をはじめ、OEMも合わせると商品数は100点を超えるという。開発にも積極的で、乾麺の常識を超えたそば粉の配合に成功した「極細そば」や、関東圏をターゲットにした「ぺろっこうどん」などオリジ

ナル商品も多い。「あくまで主力は『とろろうどん』ですが、3年程前からはどこにもない商品作りにも力を入れてきました」と、代表取締役社長の高橋政志さんはいう。だが創意工夫と革新に挑む企業姿勢は、どうやら創業時からのようだ。

昭和35年、同社は小さな製麺機1台で事業をスタートさせた。その頃のエピソードとして残る創業者手づくりのドラム缶製のかまどは、まさに創意工夫の原点。昭和55年には、山芋そばにヒントを得て「とろろうどん」が開発された。「ところが、とろろが多過ぎると固化してしまい商品にならない。配合バランスにはかなり苦労しました」。どこにもない商品づくりの背景には、挑戦と失敗の積み重ねがあるのだ。

美味しさの追求が小山ブランド その実力は県外そして海外へも

創業以来、製粉・製麺業に邁進してきた小山製麺。その原点は「美味しいものを作ろうという思い」と高橋社長はいう。

「どんなにいい設備があったとしても、『思い』がなければ美味しいものはできません。私たちは、いつもお客様の笑顔を目指して浮かべながらもの作りをしています」。

南部小麦をはじめとする高品質な粉、そして清浄な胆沢川水系の水。材料の吟味は当然だが、興味深いのは製造工程における「熟かし（ねかし）」だ。これは麺を干す（乾燥させる）ことで旨味を醸成させる技術で、麺づくりで最も大切な工程。通常は3～6時間で熟風乾燥というところを、同社では実に24時間以上もかけて自然乾燥させている。「昔ながらの手延べ方式を機械化しただけ」と工場長の実戸千秋さんはい

うが、日産5万食の製麺工場でのこのシステムは注目に値する。だが「これだけはゆずれない」と高橋社長。「美味しさの追求が小山ブランドだから」と言い切る。

現代は、食生活の欧米化などで乾麺の需要が減っているという。その中で同社は商品開発に取り組み、ぺろっこうどんを手始めに関東進出の足がかりを掴んだ。近年は、欧米での健康ブームや小麦アレルギー等の需要から輸出用乾麺も作っている。これに伴う設備の改変や更新にセンターの各種制度が活用され、高橋社長は「事業計画が立てやすく、支援があつて成り立つことができる」と信頼を寄せる。今後は資金のみならず人的支援にも期待するともいう。

今や海外進出も果たした小山の麺。しかし高橋社長は、あくまで岩手にこだわる。「一番は、岩手の人々に食べてもらうこと。そして、麺という日本古来の食文化を取り戻すため努力していかなければなりません」。



お客様の笑顔を見るために
あらゆる努力を

輸出用乾麺製造のきっかけは、当社が製麺業界では珍しくISO22000認証とHACCPの2規格を取得していたからですが、そもそもはお客様の笑顔を見るため製造過程でのミスを可能な限りなくしたいから取得したもの。その思いは今も変わりません。

代表取締役社長
高橋政志



会社名 株式会社小山製麺
本社 岩手県奥州市胆沢区小山字下野中2-5
電話 0197-47-0434
代表者 高橋 政志
創業 昭和35年(1960)3月
従業員 50名
業種 各種乾麺、半生麺製造販売、製粉加工、外食産業経営

URL
http://www.oyama-seimen.co.jp/
産業情報いわて 3



株式会社小山製麺
【支援企業紹介】奥州市



速報! いわて特産品コンクール 受賞者決定!

主催／いわての物産展等実行委員会・岩手県
後援／岩手県市長会

9月25日(水)と26日(木)、工業技術センター大ホールを会場に「いわて特産品コンクール」が開催されました。

岩手県内で製造される優れた食品、工芸品・生活用品を審査し、県産品の知名度向上につなげようというものです。昭和48年に第1回が開催されてから、今年で41回目となりました。受賞商品は、毎回大きな反響があり、各小売店で「定番商品」として常時販売されるようになるなどの効果が出ています。

コンクールは食品部門には69社143点、工芸品・生活用品部門には23社48点、あわせてのべ92社191点の出品がありました。

審査委員として、(株)高島屋 中里治・宣伝部東京店販売促進室、(株)川徳 村井陸奥廣・食品部食品商品課課長(食品部門の審査)、(株)かわとく壱番館 國本一・営業推進担当課長(工芸品・生活用品部門の審査)、岩手県産(株)長澤由美子・販売推進部商品開発課課長、(地独)岩手県工業技術センター 小浜恵子・食品醸造技術部部長、(地独)岩手県工業技術センター 有賀康弘・企画支援部上席専門研究員の以上6名が、厳正に審査にあたりました。

また、今回は食品表示アドバイザーとして、(一社)新日本スーパーマーケット協会 山口廣治・客員研究員に食品表示の指導をいただきました。

特産品コンクール入賞者には賞状、表彰楯のほか、副賞特典として新聞紙面(岩手日報)による受賞PR広告の掲載や、受賞商品貼付用シールが贈られます。

また、出品商品は「PRパンフレット」へ掲載され、岩手県アンテナショップ(東京銀座「いわて銀座プラザ」、大阪「jengo」、福岡「みちのく夢プラザ」)に配置されるほか、物産展や商談会でも配布されます。



平成25年度いわて特産品コンクール受賞商品

【食品部門】

岩手県知事賞

三陸海の贈り物
協同組合三陸パートナーズ
〈大船渡市〉

【工芸品・生活用品部門】

岩手県知事賞

山ぶどう染織ストール
糸ばた工房
〈岩泉町〉

平成25年度いわて特産品コンクール受賞商品

岩手県市長会会長賞

二子さともサクサクもちりタルト
(有)かぎや菓子舗〈北上市〉

岩泉ヨーグルトドレッシングプレーン
岩泉乳業(株)〈岩泉町〉

バーニャカウダ
大西ファーム(株)〈二戸市〉

岩手県市長会会長賞

福おちょこ一本松
(株)パンザイ・ファクトリー
〈陸前高田市〉

子供のイス
wood works crando
〈北上市〉

マイスターベスト2013
(有)染屋たきうら〈花巻市〉

いわての物産展等実行委員会会長賞

イギリス海岸濃厚チーズケーキ
(株)ブルーージュ〈花巻市〉

岩泉玄米入宮古縄文いかめし青南蛮味噌入
山根商店〈宮古市〉

たかこうサバカレー
岩手県立高田高等学校
〈大船渡市〉

黄金甘藷
(有)ムカエあぐりらんど
〈一関市〉

岩手そだち
(株)砂田屋〈盛岡市〉

いわての物産展等実行委員会会長賞

山ぶどうバッグ
大野民芸家具組合
〈洋野町〉

LEGARE
創作ジュエリー工房
SILVER ART KAORI〈盛岡市〉

あけび手提小判ホラ編工房寿限無
〈八幡平市〉

あわび蛭一三陸絆一復興プロジェクトかけあしの会
〈宮古市〉

ひじかけ椅子
おりつめ木工
〈栗石町〉

特産品コンクール受賞商品販売会

●場所:盛岡市菜園「特産品プラザ らら・いわて」 ●時期:平成25年10月下旬予定(新聞で告知します)

特産品コンクールの受賞商品を販売する予定です。お手にとってご覧いただき、お買い求めください。

台湾三三会訪日団 企業交流懇親会 開催のご案内

台湾大手企業が加盟する民間の経済団体「中華民国三三企業交流会」(会長(訪日団団長)江丙坤中国信託金融ホールディングス最高顧問、元国民党副主席 総勢70名程度)が、岩手県視察と経済交流を目的に、10月29日(火)に本県を来訪します。本県企業との「交流懇親会」が開催されますので、台湾とのネットワーク形成等に関心をお持ちの皆様は是非ご参加ください。

日時 平成25年10月29日(火) 18時から20時
場所 ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウイング(盛岡市盛岡駅前北通2-27 TEL019-625-1211)

申込締切 10月18日(金)まで (申込多数の場合、先着順となります)

※台湾との交流等に関心をお持ちの中小企業や経済関係団体等の皆様(100名程度)と台湾三三会との立食パーティでの自由商談【参加費:無料、主催者(台湾等)側が通訳手配】 *PRを目的とした食品、製品の持ち込み可(要事前連絡)

お申込・お問い合わせ (一社)東北経済連合会/東経連ビジネスセンター(担当:石堂) TEL: 022-225-8561

お知らせ

いわた
知的財産権セミナー
❖復興支援セミナーin釜石

日時 平成25年11月1日(金) 13時～16時
場所 (公財)釜石・大槌地域産業育成センター
テーマ 「商品開発・パッケージデザイン戦略」
商品開発の際のネーミング(商標)やパッケージデザイン(意匠)戦略について、事例を交えて学ぶ。
講師 創友国際特許事務所 弁理士 橋本 京子氏

❖商標セミナー～地域おこしブランド戦略～

日時 平成25年11月29日(金) 13時30分～17時
場所 (地独)岩手県工業技術センター 中ホール
テーマ 「B級グルメブランドの育て方」(仮)
地域ブランドを確立するための戦略的な取組方法や地域団体商標法改正の動向について学ぶ。
講師 特許業務法人 松田特許事務所 代表 弁理士 松田 雅章氏

お申込み
お問合せ

一般社団法人 岩手県発明協会
〒020-0857 盛岡市北飯岡2-4-25 TEL019-634-0684 FAX019-631-1010
E-mail: associ@iwate-hatsumei.org(担当:酒井)

著作権セミナーinいわて

主催 文化庁／岩手県
日時 平成25年11月22日(金) 13時～17時20分
場所 盛岡地域情報交流センター マリオス 18階・183、184、188会議室
対象者 著作権について学びたい方(定員100名)【参加費無料】
プログラム 【全体講義】「著作権制度の概要」
【分科会(事例研究&質疑応答)】
第1部会(行政・一般関係)…「(仮題)ゆるキャラの創作・保護・活用について」
第2部会(文化関係施設等関係)…「(仮題)文化関連業務と著作権について(図書館・博物館・美術館・学校における著作権の留意点)」
第3部会(企業・一般関係)…「(仮題)著作権侵害について」
申込締切 11月13日(水)まで
※詳しくは県のホームページをご覧ください。「著作権セミナーinいわて」検索

設備貸与制度のご案内

利率を引き下げました！

長期 5年～10年 低利 年1.65%
無担保 金融機関の借入枠とは別枠です (*昨年度より0.3%引き下げました)

制度のしくみ

「設備貸与制度」は、中小企業の皆様が機械・設備を導入するときに、センターがそれを商社・メーカーから直接購入して、低利で割賦販売またはリースをする、公的制度です。

設備導入 中小企業 貸与申込契約 貸与料支払 設備代金・支払い 買い戻し契約 設備貸与センター

以下いずれか1つの条件を満たせば、
最長10年、1億円まで貸付可能です。(リースは除く)
(1)経営革新計画の承認企業
(2)異分野連携新事業分野開拓計画の承認企業
(3)ISO9000/ISO14000の認証取得企業
(4)加工高に対する県内企業への外注比率が10%以上の企業
(5)県内企業5社以上へ下請発注している企業
(6)県内企業への下請発注額が年間1,000万円以上の企業
(7)申請する設備を設置することで(4)～(6)に該当する企業でも可

東日本大震災で設備または事業所が被災し、
市町村等が発行する罹災証明書等の発行を受けている中小企業
最長10年、据置期間2年利息1.55%で貸付可能です。
※一部、対象とならない業種、設備があります。センターにお問い合わせください。

区分	設備貸与(割賦販売)	リース
対象企業	県内に事業所・工場を有する中小企業(企業組合・協業組合含む)	従業員20人以下の県内小規模企業者(商業・サービス業は5人以下)
貸付期間	原則5年または7年	原則5年または7年
貸付限度額(消費税含む)	100万円～8,000万円	100万円～8,000万円
対象設備	設備(建物を除く)	汎用設備(車輛を除く)
保証金	貸与額の10%(最終償還時に返済)	—
利息(貸与損料)リース料	年1.65%	5年=1.822% 7年=1.346%
連帯保証人	法人:代表者含み2人以上 個人1人以上	

★貸与損料、リース料引き下げは、平成25年4月以降受付した分からの適用です

お問 合 せ 総務・金融グループ ☎019-631-3821 FAX019-631-3830 <http://www.joho-iwate.or.jp/setsubi>

今こそ岩手の知財を世界に広げましょう！

平成25年度 地域中小企業外国出願支援事業 第2次募集

現在、国内の中小企業において自社の技術・商品を活用した海外戦略が急激に進んでおります。当センターではこのような知財のグローバル化を視野に入れている岩手県内の中小企業を対象として、特許権等知的財産権の外国出願費用を支援する事業を実施します。今年度からは実用新案権も対象となっております。

今年度第2次の募集を行いますので、お早めにお申し込みください。

詳細につきましては担当にお電話いただくか、当センターWEBサイトをご覧ください。

対象権利

特許権、実用新案権、商標権(冒認対策商標含む)、意匠権

※冒認対策商標…いわゆる「抜け駆け対策」。商標が他者によって出願され、その国でのビジネスができなくなることを防ぐものです。

助成対象

外国特許庁への出願時に要した費用(翻訳費・外国出願料・外国代理人費用・手数料等)

- 国内出願費用、PCT出願費用、国内出願・PCT出願の弁理士費用は認められません。
- 日本国特許庁に支払う料金(特許印紙含む)は対象外です(マドリッド協定議定書に基づく国際登録出願に要する費用など)。
- 複数の国でも、外国出願に要する費用は対象となります。
- 出願費用だけを対象とするので、登録料は対象となりません(同時に支払う場合は登録料相当分のみ対象外とします)。

補助金

対象費用の1/2の補助を行い、上限は特許 **150万円**、意匠・商標 **60万円**(冒認対策商標は30万円)までとします。(1企業が複数件の申込を行う場合、1ヶ年度における上限は300万円)。

第2次公募締切 10月31日(予定)

お問い合わせ
お申し込みは

産業支援グループ TEL 019-631-3823 FAX 019-631-3830 <http://www.joho-iwate.or.jp/fipr/>

東北最大級のビジネス展示会
第8回 **ビジネスマッチ東北2013**

新たな出会いが無限に。

充実の
出展事前セミナー、
事後フォローアップ
セミナーも開催！

ビジネス展示会
および商談会

「情報・IT」「電気・機械」「環境・くらし」「ニュービジネス」「健康・福祉・スポーツ」「防災・減災」「食と農」「観光」「企画出展(産学連携など)」の9ジャンルの会場構成で、新たな「商品」「サービス」「ビジネスプラン」等を一堂に展示。

日時 2013 **11.7** 10:00-17:00
会場 **夢メッセ MIYAGI**

夢メッセみやぎ展示棟
www.yumemesse.or.jp/access
〒983-0001 仙台市宮城野区港三丁目1-7

■主催／(社)東北ニュービジネス協議会、(一社)東北地区信用金庫協会、(一社)東北経済連合会、東経連ビジネスセンター、(一財)みやぎ産業交流センター
■共催／みやぎ優れMONO発信事業実行委員会、東北地区しんさん経営者協議会、東北六県商工会議所連合会、新潟ニュービジネス協議会
■協力／仙台商工会議所
※みやぎ優れMONO発信事業実行委員会構成団体／宮城県、仙台市、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県商工会議所連合会、宮城県商工会連合会、仙台商工会議所、宮城県中小企業団体中央会、(公財)みやぎ産業振興機構、(一財)みやぎ産業交流センター、(一財)青葉工学振興会、(一社)みやぎ工業会、(公社)宮城県物産振興協会、東北電力(株)宮城支店、(株)テクノプラザみやぎ、(株)七十七銀行

ビジネスマッチ東北2013実行委員会事務局 〒981-0021 仙台市青葉区中央二丁目8番13号 大和証券仙台ビル10階 (社)東北ニュービジネス協議会内
TEL.022-261-5817 FAX.022-261-2890 URL:<http://www.bmtohoku.jp> E-mail:info@bmtohoku.jp

出展者募集に関する問い合わせ先 **ビジネスマッチ東北2013 出展者募集係**
〔株式会社ブレイン内〕TEL022-344-9311 FAX022-344-9315 E-mail:info@bmtohoku.jp ビジネスマッチ東北2013 | 検索



「新素材・加工産業の振興を通じた雇用創造プロジェクト」について

産学官金が一体となって、コバルト合金を含めた特殊合金新素材の製造とその加工産業集積を促進し、雇用創出を目指す本県の提案「新素材・加工産業の振興を通じた雇用創造プロジェクト」が、この度、国の戦略産業雇用創造プロジェクトに選定されました。

いわて産業振興センターは、「新素材・加工産業化研究会」を立ち上げ、参画企業に対して専門家による助言指導のほか、販路開拓・事業化・製品化等様々な支援を実施していきます。

「新素材・加工産業化研究会」設立総会・講演会

コバルト合金などの新素材製造や加工産業の集積を図ることを目的に研究会を開催いたします。特殊合金や難削材加工に興味をお持ちの県内企業様の来場をお待ちしております。

開催日 平成25年10月22日(火) 14:00~19:00

会場 盛岡市 ホテルルイズ 3F 万葉の間

内容 (予定)

事業概要説明 14:00~14:30 / 講演会 14:30~17:30

テーマ1 「いわてにおけるコバルト合金事業の歩み」

東北大学 金属材料研究所 教授 千葉 昌彦 氏

テーマ2 「特殊合金の活用分野とその種別」

公益財団法人いわて産業振興センター 技術経営アドバイザー 杉本 榮

テーマ3 「ニッケル基合金及びコバルト基合金向け刃具について」

三菱マテリアル株式会社

加工事業カンパニー超硬製品事業部販売企画部部長補佐 大分 義光 氏

テーマ4 「法改正によるコバルト含有製品の対応について」

調整中

交流会 17:30~19:00 / 会費4,000 円

参加対象者 特殊合金や難削材加工に関心を持つ企業関係者、大学の研究者等

主催 公益財団法人いわて産業振興センター、公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター

共催 岩手県新素材・加工産業集積促進協議会

申込先 公益財団法人いわて産業振興センター ものづくり振興グループ (担当：嶋、工藤)
TEL 019-631-3825 (お早めにお申し込みください)